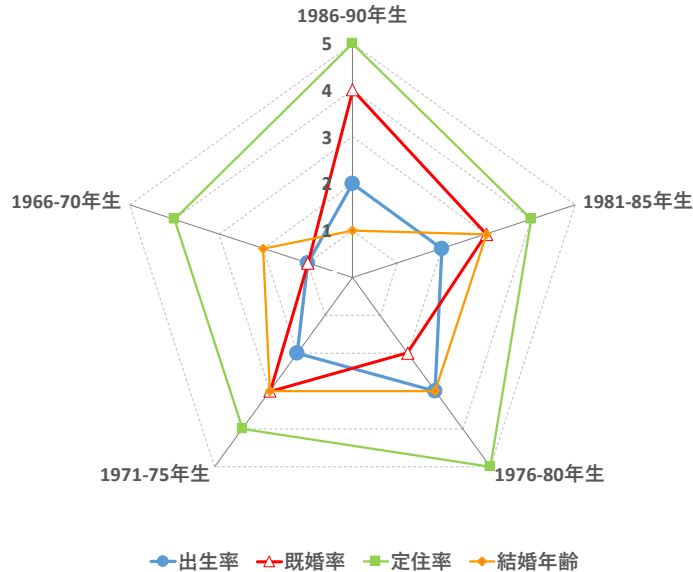


## (11) 燕市

### ①出生に関する総合評価

図11-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

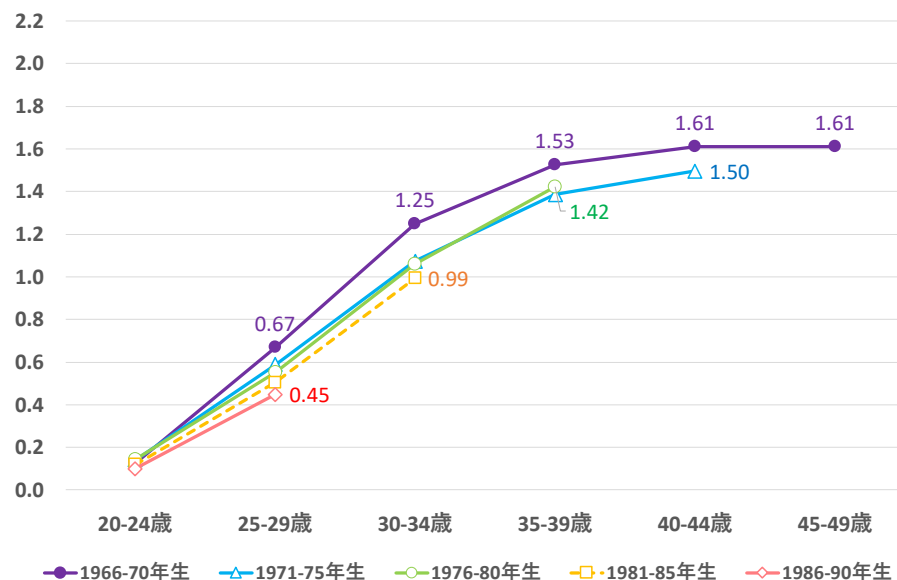
1. 合計出生率は、1966-70年生まれは最下位であるが、1971-75年生、1981-85年生、1986-90年生は下位、1976-80年生まれは中位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは最下位、1976-80年生まれは下位、1971-75年生と1981-85年生は中位、1986-90年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1981-85年生まれは上位、1976-80年生まれと1986-90年生まれは最上位である。
4. 女性結婚年齢は、1986-90年生まれは最下位、1966-70年生まれは下位、1971-75年生まれから1981-85年生まれまでは中位である。

### 【総合評価】

1. 燕市では、定住率が全コホートで上位以上に属しているが、1980年代後半生まれの既婚率が上位であることを除いて、既婚率と結婚年齢は中位から最下位にある。合計出生率も全コホートで中位から最下位に属している。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代前半生まれから1人を下回っており、1980年代前半生まれは0.9を下回っている。25-29歳の出生率が一貫して減少傾向にあることから、今後1人を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。

## ②コホート合計出生率

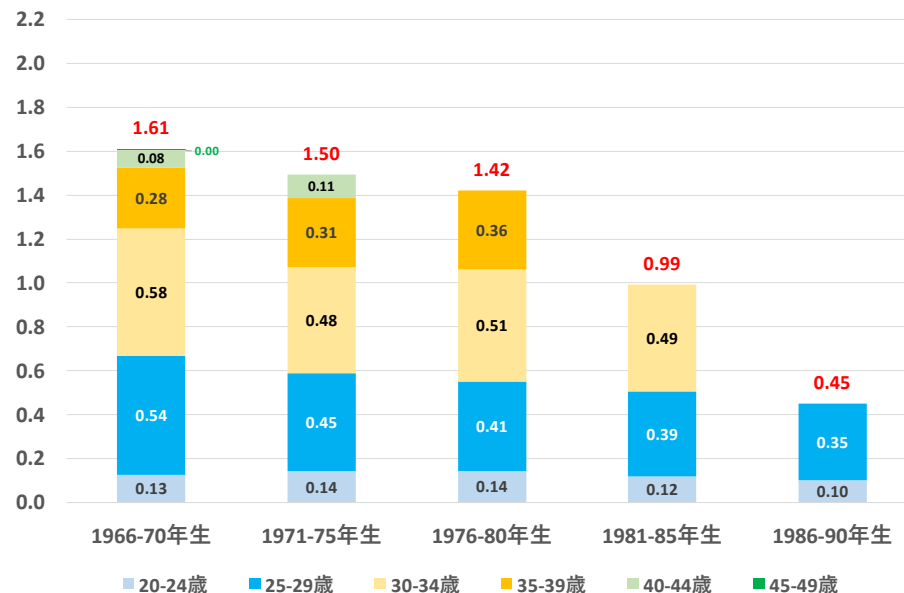
図 11-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 11-2 は、燕市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1981-85 年生まれ以降のコホートではさらに 25-29 歳の合計出生率が低下している。

図 11-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

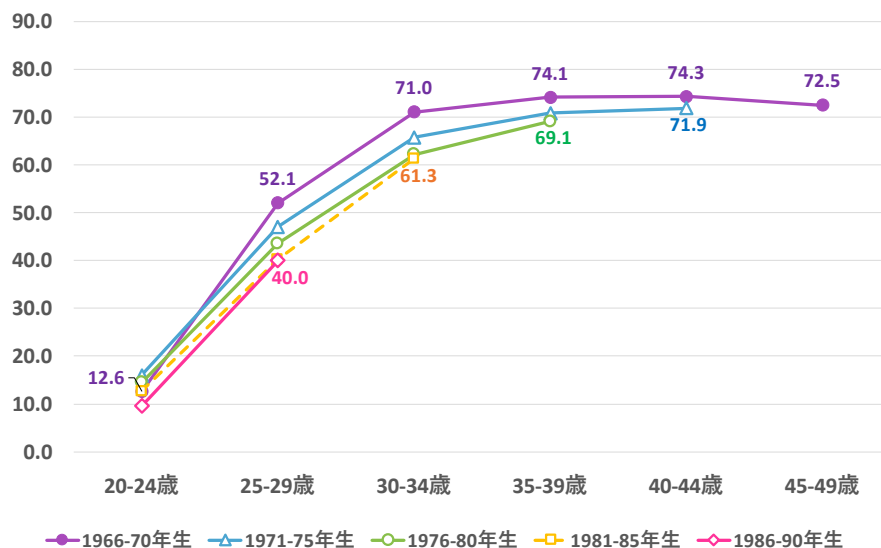


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 11-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.67 人に対して、1986-90 年生まれは 0.45 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.86 人に対して、1976-80 年生まれは 0.87 人とほぼ横ばいである。
- ・ もともと 20 歳代の出生数が少ないなかで、晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下し、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれも 0.88 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

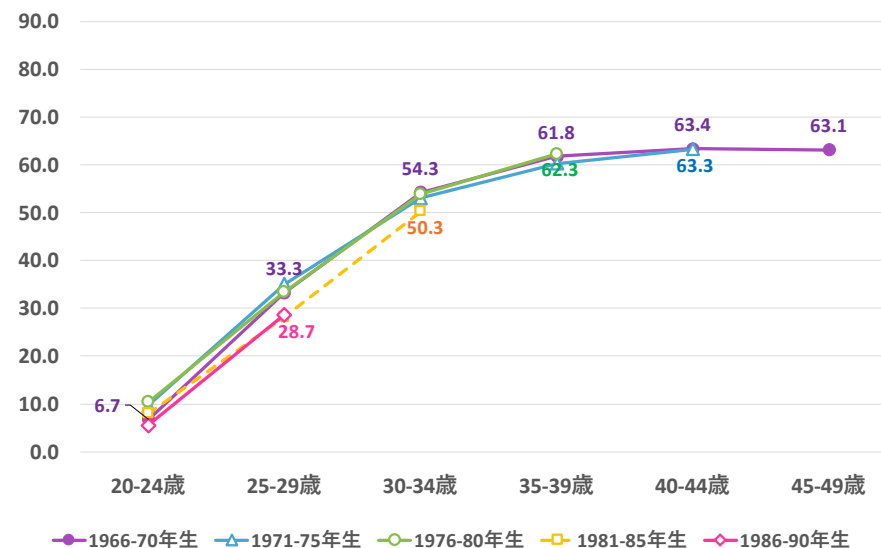
図 11-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 11-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 52.1%から 1986-90 年生まれは 40.0%へと 12.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 74.1%から 1976-80 年生まれは 69.1%へと 5.0 ポイント低下している。

図 11-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

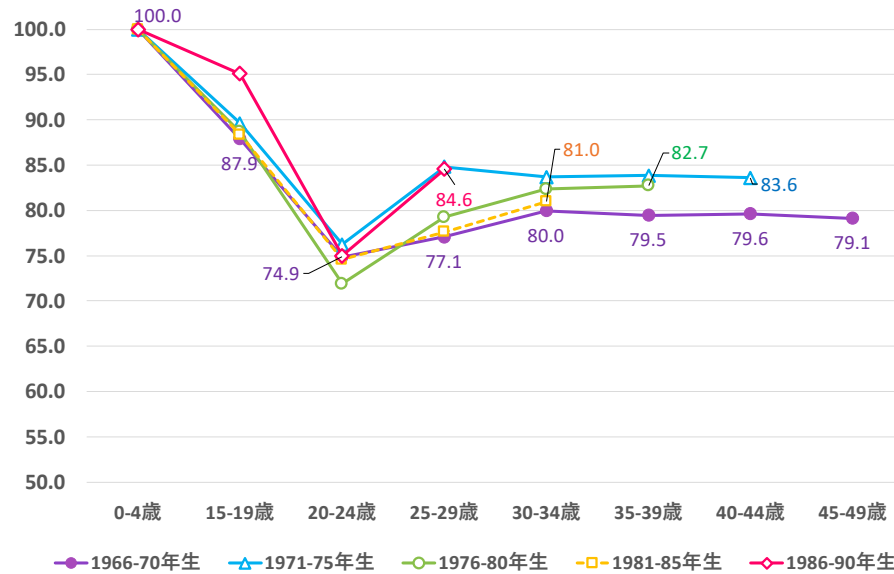


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 11-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 33.3%から 1986-90 年生まれは 28.7%へと 4.6 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 61.8%から 1976-80 年生まれは 62.3%に 0.5 ポイント増加している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半に達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 11-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

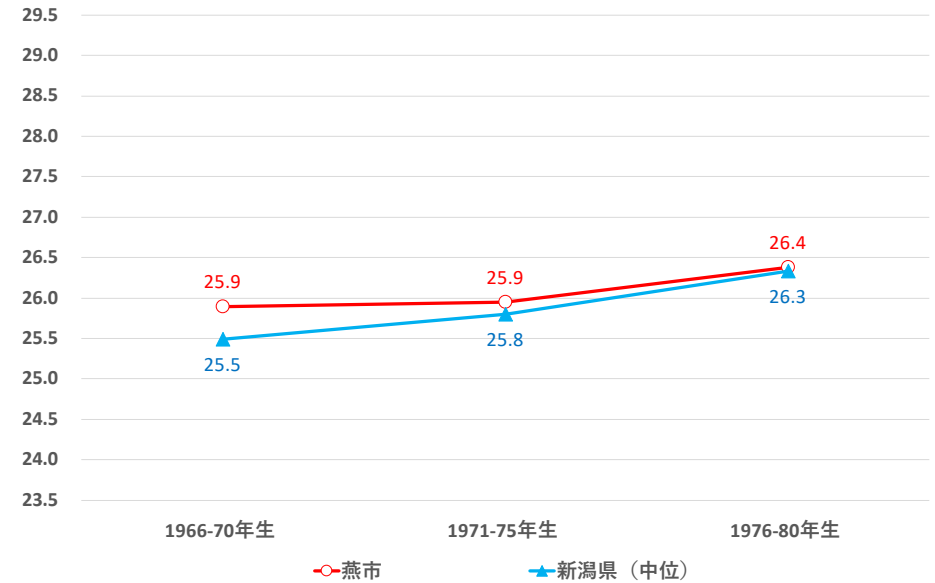


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 11-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの77.1から1986-90年生まれは84.6に7.5ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの79.5から1976-80年生まれは82.7に3.2ポイント増加している。
- ・ 燕市では、25-39歳時でみると、1970年以降のコホートは1966-70年生まれコホートより上昇しており、0-4歳時点の70%台後半から80%台前半の水準が維持されている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 11-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

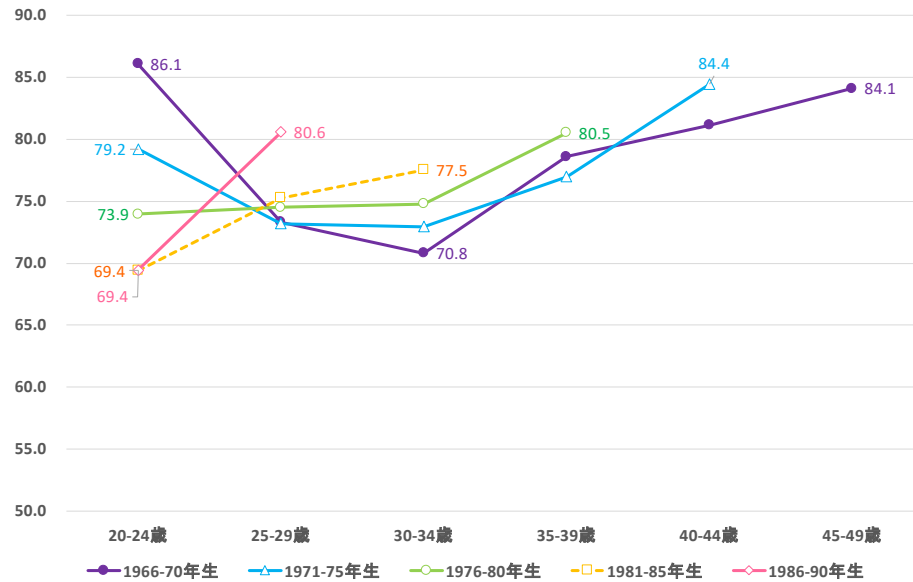


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-11 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.9歳、25.9歳、26.4歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.5歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は27位、1971-75年生の県内順位は20位、と県内自治体と比較すると遅かったが、1976-80年生は17位と県内平均(中位)程度となった。

⑥コホート別女性就業率

図 11-8 コホート別女性就業率 単位：%

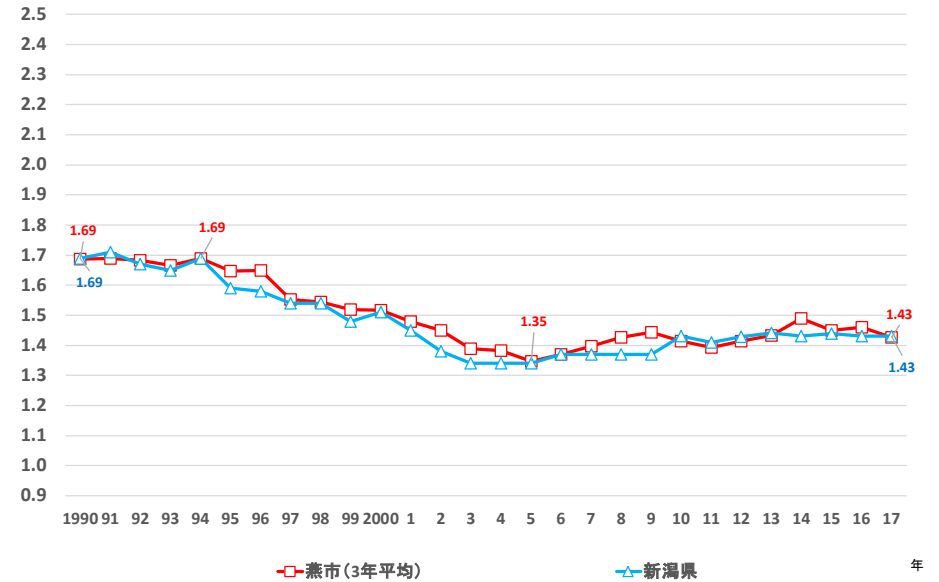


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 11-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 70.8%であったのに対して、1981-85 年生まれは 77.5%に上昇している。
- ・ 1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 11-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 11-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と燕市 (3 年平均) の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、燕市の期間合計特殊出生率は新潟県平均とほぼ同水準で推移をしており、期間平均は 0.02 ポイント高い。
- ・ 燕市の期間合計特殊出生率は、1994 年の 1.69 をピークに低下してきたが、2005 年の 1.35 を底に改善し、2017 年にはわずかに 1.43 に上昇している。